

対象者の皆様

末梢挿入型中心静脈カテーテル管理に関する事前調査のご依頼

現在、当院には末梢挿入型中心カテーテル（以下 PICC）の管理に関するプロトコルがなく、様々な病棟から適切な管理方法についてのご相談を頂いております。

今後、院内プロトコルを作成し、看護基準・手順に掲載することで看護師による適切な管理を実践するために、現在の手技について事前調査をさせて頂きたいと考えております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、目的をご理解頂き、御協力をお願い致します。

【調査目的】

1. 末梢挿入型中心静脈カテーテル（以下 PICC）管理の現状を調査する。
2. 調査結果を参考に、看護師による PICC 管理プロトコルを作成する。
3. プロトコル作成前後のカテーテル閉塞に関するインシデント数を比較する。

【調査対象者】

JA 広島総合病院に勤務されている看護師・保健師・助産師

【調査方法】

1. 各部署からラダーⅠ～Ⅲの5名の協力者の選出をお願い致します。
2. 協力者の方は、それぞれの看護経験年数とラダーを記入して下さい。
3. 回収方法は個人が特定されないように封筒に入れ、指定の回収袋に入れて下さい。
4. 回収〆切は2021年3月末日とさせていただきます。

【倫理的配慮】

この事前調査は各部署のカテーテル管理を評価するものではありません。

回答は自由意志であり、回答されなかった場合も個人の不利益は生じません。

知り得た情報の守秘義務を遵守し、本研究以外の目的で使用することはありません。

調査内容や主旨については、JA 広島総合病院倫理委員会承認を得ています。

【利益相反の有無】

開示するCOIはありません。

【質問回答者】

看護経験年数（                      年目）      ラダー   I   ・   II   ・   III

【質問事項】

PICC の管理について、ご自身が実施されている方法を教えてください。

1. 維持輸液のルーメン選択について○をして下さい。
  - ダブルの場合（ 白 ・ 赤 ・ 特に決めていない ）
  - トリプルの場合（ 白 ・ 赤 ・ 紫 ・ 特に決めていない ）
  
2. 使用していないルーメンの1日のフラッシュ回数を選択し○をして下さい。  
（ 1日1回 ・ 1日2回 ・ それ以上      ）
  
3. 使用していないルーメンのフラッシュ1回に使用する薬剤の種類に○をして下さい。
  - ① 生理食塩水のみ
  - ② 生理食塩水の後にヘパリンシリンジ
  - ③ ヘパリンシリンジのみ
  - ④ 分からない
  
4. 使用していないルーメンのフラッシュ1回に使用する薬剤投与量を（      ）内に記入して下さい。
  - ① 生理食塩水（      ）mL
  - ② 生理食塩水（      ）mLの後にヘパリンシリンジ（      ）mL
  - ③ ヘパリンシリンジ（      ）mL
  - ④ 分からない
  
5. 使用していないルーメンのフラッシュ方法について該当する項目に○をして下さい。  
（複数選択可）
  - ① カテーテル内への逆流を低減するため、注入しながらクランプし、ゆっくりシリンジを抜く『陽圧ロック』をしている。
  - ② プランジャーを押す・止める・押す・止めるというパルス（波を生じるような）動作を続けて行う『パルシングフラッシュ法』をしている。
  - ③ どちらもしていない。

6. 間欠的に使用する場合のルーメン管理について、方法を選択し（複数選択可）、続けて（ ）内の薬剤投与量を記入して下さい。
- ① カテーテルの毎使用前後に（ ） mL の生理食塩水でフラッシュしている。
  - ② カテーテルの毎使用前後に（ ） mL の生理食塩水でフラッシュした後、ヘパリンシリンジ（ ） mL でロックし、クランプしている。
  - ③ 配合禁忌薬剤を注射または注入する場合は、各薬剤の投与前と後に必ず（ ） mL 以上の生理食塩水でカテーテルをフラッシュしている。
  - ④ どの方法でもない。

7. 6の質問で④を選択された場合は、現在実施している方法を教えて下さい。

[ ]

8. ダブルルーメンを採血に使用したことがある場合は、以下の質問にお答え下さい。

- ① （ 白 ・ 赤 ） から採血している。
- ② 採血しない方のルーメンはクランプ（ している ・ していない ）。
- ③ 採血の前に、生理食塩水をフラッシュ（ している ・ していない ）。
- ④ 採血の前に、カテーテル容量の 1.5 倍から 2 倍の量の血液を破棄（ している ・ していない ）。
- ⑤ 血液を採取する際は、新しいシリンジを使用（ している ・ していない ）。
- ⑥ 採血の後は、10mL の生理食塩水でフラッシュ（ している ・ していない ）。
- ⑦ ⑥の後に引き続いてカテーテルを使用しない場合は、ヘパリンシリンジでロック（ している ・ していない ）。
- ⑧ TPN 溶液注入直後に採血を行う場合は、生理食塩水 20mL を使用してフラッシュを行い、カテーテル内の TPN 溶液を除去（ している ・ していない ）。

9. その他、PICC 管理に関する質問がございましたらご自由に記入して下さい。

[ ]

御協力有り難うございました。

救急看護認定看護師 竹野香織